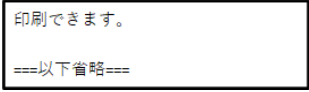
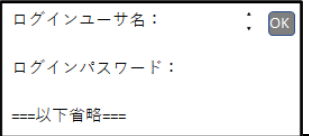
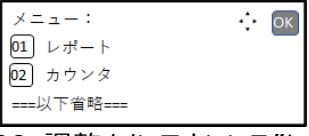
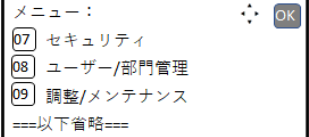
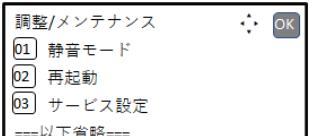
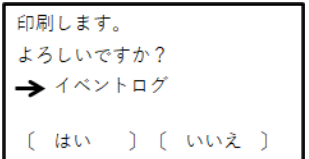
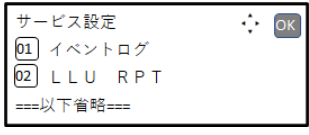


XL-8400 イベントログの印刷手順

イベントログの印刷から、発生したエラーコードを確認することができます。

順	操作手順	順	操作手順
1	<p>プリンタの電源を投入／再投入すると初期画面の“印刷できます”と表示します。</p> 	6	<p>「OK」キーを押下すると以下の画面を表示します。</p> 
2	<p>「メニュー」キーを押下すると“メニュー：”画面を表示します。</p>  <p>「▼」キーを8回押下し“09 調整/メンテナンス”にカーソルを合わせます。</p> 	7	<p>ログインユーザ名とログインパスワードを入力します。 ※工場出荷時は4000に設定（両方共） ※詳細はハードウェアガイドをご参照ください P 2-13_「ログイン・ログアウト」 P11-17_「文字の入力方法」 以下、工場出荷時の場合の入力方法 ⇒「OK」キー ⇒画面右下の「右選択」キー⇒「▼」キー （“半角数字”にカーソルを合わせます。） ⇒「OK」キー ⇒「4」キー⇒「0」キー⇒「0」キー⇒「0」キー ⇒「OK」キー ⇒「▼」キー⇒「OK」キー ⇒画面右下の「右選択」キー⇒「▼」キー （“半角数字”にカーソルを合わせます。） ⇒「OK」キー ⇒「4」キー⇒「0」キー⇒「0」キー⇒「0」キー ⇒「OK」キー [ログイン]の下にあるスイッチを押下します。</p>
4	<p>「OK」キーを押下すると“調整/メンテナンス”を表示します。 「▼」キーを2回押下し、“03 サービス設定”にカーソルを合わせます。</p> 	8	<p>入力が成功すると以下の画面を表示します。</p>  <p>「OK」キーを押下するとイベントログの印刷が開始します。</p>
5	<p>「OK」キーを押下すると“サービス設定”を表示します。 「▼」キーを3回、押下し、“イベントログ”にカーソルを合わせます。</p> 		

- ・印刷された1ページ目のイベントログは各項目毎に、上から新しい順でなっています。
- ・新しいエラーログ（「Count」、「Event descriptions」/「Service Code」、「data and Time」）をお問い合わせ窓口伝えてください。

イベントログの見方

- ① 「Paper Jam Log」 : 紙詰まり
 - ・「Count.」 : 総印刷枚数
 - ・「Event descriptions」 : エラー情報
 - ・「Date and Time」 : 発生日時
- ② 「Service call log」 : 紙詰まり以外のエラー
 - ・「Count.」 : 総印刷枚数
 - ・「Service Code」 : エラー情報
 - ・「Date and Time」 : 発生日時

Event Log				
Printer XL-8400				
Firmware Version 2YXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX				
Machine No. : XXXXXXXXXX		Life Count:xxxxxx		
Paper Jam Log				
#	Count.	Event descriptions	Date and Time	
10	xxxxx	xxxx.xx.xx.xx.xx	2024/12/24 9:23	
Service call log				
#	Count.	Service Code	Date and Time	
7	xxxxx	xx.xx.xxxxx	2024/11/25 9:23	
Maintenance Log				
#	Count.	Item.	Date and Time	
8	xxxxx	xx.xx	2023/10/24 9:23	
Toner Log				
#	Count.	Item.	Serial Number	Date and Time
5	xxxxx	xx.xx	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	2023/12/21 9:23
				Detail x.xxx

<例：イベントログ印刷結果>

①

②